

いしかわ教育ウィーク

12月を迎え、朝夕の冷え込みに加え日中も肌寒い日が増えてきました。体調を崩しやすい時期ではありますが、押水第一小学校の子どもたちは、元気に学校生活を送っています。これも保護者の皆様の体調管理のおかげと感謝申し上げます。学校におきましても、しっかりと冬支度を整えつつ、子ども達が今後も充実した学校生活を送れるよう取り組んで参ります。

さて、今年も実りの秋の11月「いしかわ教育ウィーク」期間に音楽集会や学校保健委員会、授業参観等を開催することができました。保護者の方々には、お忙しい中ご来校いただき誠にありがとうございました。授業や各活動・行事等に真剣に、一生懸命取り組む姿を見てもらえることは子どもたちにとって何よりの励みとなります。特に音楽集会ではたくさんの保護者の方に見守られ、子どもたちは普段以上の力を発揮できたのではないかと思います。そのような児童の姿を見るにつけ、ご家庭との協力・連携がやはり大切であるなど改めて感じずにはられません。

今後とも本校の教育活動へのご協力・ご支援の程、何卒お願い申し上げます。

むかし遊び交流会（11月25日）

1年生が、地域の学校支援ボランティアの方をお招きして「むかし遊び交流会」を開きました。5種類の昔遊びを丁寧に教えていただきながら、とても楽しい時間を過ごすことができました。



子ども達は、地域の方々それぞれの遊びのコツや楽しみ方を教わり、最近のゲームやネット等とは違った昔ながらの遊びの魅力にすっかり夢中になっていました。



3校合同おもちゃランド交流（11月22日）

2年生が、令和7年度に統合される相見小学校と宝達小学校の2年生と合同で「おもちゃランド」を開催しました。



子ども達は、それぞれの学校で考案した遊びを一緒になって楽しみ、交流を深めていました。自分たちで考えた「おもちゃランド」が成功したこと、そして他



校の2年生と仲良くなれたことに2年生はとても満足そうでした。統合に向けて、このような合同の活動が今後も楽しみです。

いしかわ教育ウィーク（11月1日～7日）

【音楽集会】

いしかわ教育ウィークの11月4日、音楽集会を開催いたしました。
保護者の皆様には多数ご来校いただきまして誠にありがとうございました。



コロナ禍で発声や楽器の演奏など、練習が制約されることもありましたが、子ども達は、その制約の中で、できることに集中して頑張ったこの日を迎えました。保護者の方に見てもらえるということが子どもたちにとって何よりの励みとなり、この日の演奏はとても素晴らしいものとなりました。

【学校保健委員会】

学校薬剤師の佐藤里美先生をお招きし、学校保健委員会を開催いたしました（4年～6年）。

児童会の代表委員会と給食保健委員会が「目の健康」をテーマに、劇やクイズ等も交えながら、わかりやすく発表するなどして、「目に優しい生活」について楽しく学ぶことができました。



インターネットやスマホ等が生活の中で当たり前に使われる世の中となってきた今だからこそ、一人一人が自分の目の健康についてしっかりと考えていかなければならないと思いました。

【授業参観・公開授業】

いしかわ教育ウィーク期間中は、保護者の皆様に授業を公開させていただきました。ご来校・ご参観いただきました保護者の皆様には誠にありがとうございました。



この期間中、全学年で道徳の授業も公開させていただきました。写真は、4日の1～3年およびすみれ学級の道徳の授業の様子です。

マラソン大会（10月20日）

10月20日、秋晴れの絶好のマラソン日和となりました。子ども達は、9月末から3週間にわたって練習を重ねてこの日を迎えました。どの児童もこれまでの自分よりも少しでも速くという気持ちで頑張り、とてもいい走りを見せてくれました。



第1レースは3年生
トップバッターに相応しい
元気な走りでした。



第2レースは4年生
練習の成果を発揮しようと真剣な
眼差しで走りきりました。



第3レースは1年生
初めてのマラソン大会に果敢に
チャレンジしてくれました。



第4レースは2年生
6人で切磋琢磨しながら
頑張りました。



第5レースは5・6年生女子
マラソン選手のようなきれいなフォームで
軽やかな走りが印象的でした。



第6レースは5・6年生男子
最終レースに相応しいスピード感のある
見応えのあるレースを展開してくれました。

保護者の皆様そして地域の皆様には、子どもたちへのご声援ありがとうございました。
また、森本地区の皆様、PTA役員の皆様には、マラソンコースの草刈り等、環境整備にご尽力くださいました。本当にありがとうございました。

「親子のホットとネット大作戦 Next」のご案内

先月、本校「生徒指導だより」で、本校のインターネットアンケートの結果をお伝えし、家庭でのタブレット端末等の使用について、ご家庭でルールを決めたり、その使い方についてお子様と定期的に話し合ったりしていくことが大事ではないかとお伝えさせていただきました。

学校におきましても、昨年度から1人1台タブレット端末が配付され、子どもたちにとってインターネットの世界がより身近となり、これからの生活においてますます切り離すことができないものとなってきています。

そこで保護者の皆様に重ねてご案内したい冊子があります。本年度7月に配付させていただきましたが、石川県教育委員会から発行されている「親子のホットとネット大作戦 Next」(右写真)です。



子どものインターネットの平均利用時間(※1)は、右肩上がりに増加しています。

上手に使うととても便利なツールとなる一方、使い方を誤ると「ネット依存」や「ゲーム障害(※2)」、「生活リズムの崩れ」や「ネットを介した様々なトラブル」等に巻き込まれてしまいます。要注意なのは、これらはネットの世界に夢中になって自分でも気づかないうちに陥ってしまうということです。

この冊子には、子どものインターネットの利用に関わって、保護者だからこそ知ってほしいこと・考えてほしいことが詳しく記載されております。石川県のホームページからも閲覧できます。これからインターネットの利用が当たり前前の社会になっていくからこそ、ぜひご覧いただきたいと存じます。

(下記の資料はすべて「親子のホットとネット大作戦 Next」からのものです。)

インターネットの平均利用時間(平日1日あたり) ※1



平日1日当たり5時間以上利用している子どもの割合

通園中(0~6歳)	3.2%
小学生(6~9歳)	4.9%
小学生(10~12歳)	21.9%
中学生	35.5%
高校生	46.0%

【ゲーム障害】お子さんの様子に気をつけてみましょう ※2



10月~11月の学校の様子

和菓子作り(ビジネスアカデミー)



食の指導



喜多家見学



箔押し体験

